

消防だより



虹のマーチ


2009.10
第14号

川越地区消防組合



TEL 223-0700

— 消防テレホンサービス —

 消防テレホンサービスをご利用ください

この時期は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなり、災害出場する緊急自動車のサイレンを聞くことが多くなります。

「どこで災害が発生しているの?」というときのために、川越地区消防局では、「消防テレホンサービス」を開設しています。

「TEL 223-0700」

・ 災害等発生場所の情報 (火災、救助、警戒など)


・ 火災の鎮火情報

・ 地震発生情報 (震度二以上)

・ 音声合成ガイダンスで二十四時間、情報を提供しています。

また、同消防局のホームページからも災害情報をご覧になれます。

* 災害情報を一一九番に問い合わせる方が増えています。そのため、一一九番の通報がつかない可能性があります。災害についての問い合わせには、消防テレホンサービスをご利用ください。

 緊急自動車はサイレンを鳴らして災害出場します

救急車を呼ぶ一一九番通報で、「サイレンを鳴らさないで」と言われることがあります。しかし、消防車や救急車等の災害出場する車両は、サイレンを鳴らし、赤色警光灯をつけて出場することが法律で定められていますので、サイレンを鳴らさずに出場することはできません。緊急自動車は一刻も早く、災害現場へ駆けつけるためのもの、一秒でも早く、災害現場に到着できるように、ご協力をお願いいたします。

問い合わせ 消防局指揮統制課

TEL 222-0700

秋の全国火災予防運動期間 11月9日(月)～11月15日(日)



川越地区消防組合

秋の全国火災予防運動

毎年11月9日から15日まで、秋の全国火災予防運動を実施しています。

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎える前に、火災予防知識を普及させるために実施されるものです。火災の発生を防止するとともに、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的としています。

住宅防火いのちを守る7つのポイント

1-3つの習慣・4つの対策1

①寝たばこは、絶対やめる。



③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



⑤寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。



⑦お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



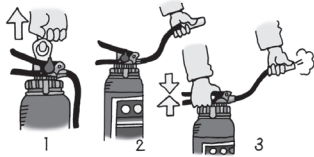
②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



④逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。



⑥火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。



地域自ら、火災及び災害に強い町づくりを目指しましょう。



消火器を点検しましょう！

消火器は初期消火には非常に有効な消火手段です。しかし、老朽化した消火器は破裂する場合があります。



耐用年数内で

あっても設置状況により、さび・傷・変形などの異常があるものは、自ら処分せずに業者に依頼して、廃棄処分して下さい。

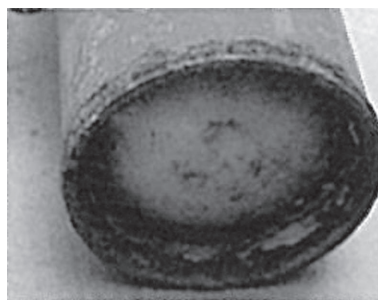
・使用に耐えない破損がある

・ホースの脱落がある

・指針が緑色の範囲外になっている

・溶接部とその周辺の腐食がある

・使用に耐えない変形がある



溶接部とその周辺の腐食

処分の方法

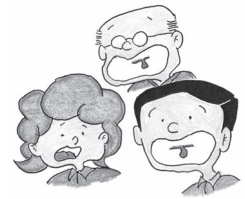
廃棄する際は、お買い求めの販売店、メーカー又は消火器の専門業者に依頼をして下さい。

回収された消火器は分別・リサイクルされます。(処分料は基本的には有料です)

*川越市・川島町・川越地区消防局では、処分や引き取りは行っていません。

火事・救急・救助は119番

身近な
電気製品に
ご注意!



最近の火災原因は極めて多様化しています。その中でも、電気製品、燃焼機器などの身近な製品から突然発煙・発火し、火災になるケースが増加しています。

スイッチを入れても動かなかったり、使用中に自然に電源が切れてしまったりなど、動作に異常があるときは、使用を中止しメーカーへの問い合わせなどをしてください。



製品に関するリコール情報、社告の有無については、独立行政法人製品評価技術基盤機構 (<http://www.jiko.nite.go.jp/>) (通称ナイト) のホームページで確認することができます。

ナイトでは、現在約一万五千件の情報が、品名、事故内容などから、検索が可能となっております。

新聞等で行われた社告・リコール情報についても、その内容をまとめて整理し現在、約七百三十件の情報を提供しています。

ついでいますか?

住宅用火災警報器

住宅火災での死者数は、全国で平成十五年以降五年連続して千人を超えています。このうち、六十五歳以上の高齢者の割合が約六割となっております。死者数は、今後の高齢化の進展とともに、さらに増加することが懸念される状況にあります。このため消防法令の改正により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置及び維持が義務化されました。

住宅用火災警報器を設置し火災とならなかつた事例を紹介します。



○Aさんが、ガステーブルに火をつけたまま、隣室の居間で寝こんでしまい、寝室に設置してあった住宅用火災警報器が感知して鳴動しました。

警報音で目を覚ましたAさんがガステーブルの火を消して、火災にはなりませんでした。

このように住宅用火災警報器を取り付けたことにより、早期発見・火災の発生、拡大に至らなかつた事例が多くあります。



川越地区消防局は、川越地区住宅用火災警報器設置推進協議会を設置しました。同協議会では、住宅火災による死者の発生防止に有効な住宅用火災警報器の設置を推進し、住宅火災による死者数の低減を図っていきます。住宅用火災警報器の設置は、住宅防火対策の「切り札」です。あなたの家に住宅用火災警報器を設置しましょう。

防火講演会

十二月三日(木)、午後一時から川越プリンスホテルで講演会があります。聴講申し込み・問い合わせについては、次のとおりです。

定員：先着百五十人

参加費：無料

申し込み：十一月十六日(月)～二十五日(水)

平日午前八時三十分～午後五時

申し込み・問い合わせ 消防局予防課

TEL 222-0744

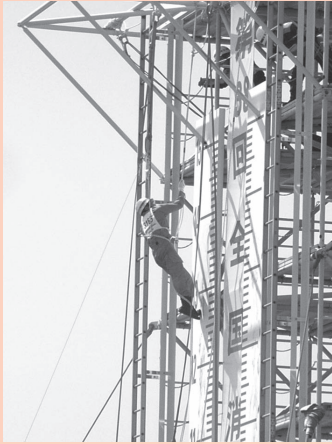
2009年度全国統一防火標語「消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子」

全国消防救助技術大会で入賞！

八月二十日、神奈川県横浜市で開催された、第三十八回全国消防救助技術大会。川越地区消防局からは、ロープ応用登はんチームが出場し、入賞しました。

この大会は、消防救助技術の向上を目的として毎年開催されます。出場者は、全国の消防本部から、地区大会などで優秀な成績を取めた隊員・チームです。

大会で行われる競技は、ロープ応用登はん、ほふく救出など陸上の部が七種目、基本泳法・溺者救助など水上の部が七種目。各訓練の出場者は、安全性と迅速性について競い合います。当消防局は住民の安心・安全を守るため、日々努力を重ね、更なる消防救助技術の向上に努めます。



ロープ応用登はん訓練状況

問い合わせ 消防局警防課
TEL 2222-50801

川越地区消防組合消防音楽隊



同音楽隊は、平成十三年四月一日に発足しました。儀式、式典、各種行事に参加し、「市、町民と消防を風のようにさわやかに結ぶ」をスローガンに演奏活動をを行っています。また、演奏会を通して、災害のない安心・安全な街づくりを隊員は、消防職員の総勢三十名から構成されています。火災、救急、救助業務

などのかたわら、日々の演奏訓練に励んでいます。
第5回定期演奏会♪

やまぶき会館
で定期演奏会を開催します。演奏会は三部構成で、火災予防の啓発並びに消防のPR活動に努めます。
ぜひ、この機会に消防音楽隊の演奏をお聴きください。



平成22年2月7日(日)

開場時間 午後一時三十分
開演時間 午後二時
終演時間 午後四時(予定)



消火・救急・救助協力 ありがとうございます

次の消火・救急・救助協力に対して、消防局長が感謝状を贈りました。

◎建物火災において、いち早く駆けつけ、消火協力に貢献されました。初期消火に協力されたことにより、被害を最小限度に食い止められました。

七月十二日 川越市大塚新町地内
川越市大塚新町 徳山誠さん
徳山裕子さん

◎建物火災において、いち早く駆けつけ、着衣が燃え、倒れている女性を発見し、消火・救助協力に貢献されました。初期消火に成功するとともに、尊い命を救いました。

八月十一日 川越市小仙波町地内
川越市小仙波町 秋山熊男さん

◎建物救助において、発生場所付近で作業をしていた長谷川土建作業員が一丸となり、迅速な救急・救助協力に貢献されました。

五月二日、川越市小室地内
川越市新宿町 高橋優さん
同的場 長谷川史裕さん
同広栄町 荒井龍司さん
同砂新田 大久保定治さん

特別点検でサイレンを吹鳴します

十一月十五日(日)、川越総合卸売市場(川越市大袋)で、消防特別点検が実施されます。点検当日、朝八時にサイレンが鳴ります。火災とまちがえることのないようお願いいたします。

問い合わせ 消防局総務課
TEL 222-0741



消防だより

虹のマーチ

2009.10
第14号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町48-4 TEL 049-222-0741

<http://www.119kawagoechiku.jp/>

消防テレホンサービス/TEL 223-0700 *かかけまちがいにご注意ください。

火事・救急・救助は119番